

# 海軍公報 (部内限) 第三千三百號

昭和十四年九月一日(金)  
海軍大臣官房

## ○ 令 達

官房機密第五〇〇號 提 要

昭和十三年官房機密第五〇二六號ニ依リ昭和十四年度ニ於テ採用スベキ各種練習生ノ員數中左ノ通改正ス

昭和十四年九月一日

海 軍 大 臣

表中航空術ノ部(探用者)縦(探用者)ノ項ヲ左ノ如ク改ム

航空術	操縦 <small>(探用者)</small>	三四〇	三〇〇	三〇〇	九四〇
-----	-------------------------	-----	-----	-----	-----

(昭和十三年九月十五日) 本欄参照  
(昭和十四年七月二十五日)

## ○ 通 牒

經物第一七一號

昭和十四年八月三十一日

海軍省軍務局長  
海軍省經理局長

關係各廳長殿

朝鮮、臺灣、關東州又ハ滿洲國ヨリ購入

スル軍需物資取得確保ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シテハ海軍重要物資需給事務取扱要領ニ

據ルノ外當分ノ間左記ニ依リ處理相成度

記

一、中央契約ニアリテハ經理局、地方契約ニアリテハ各契約廳ハ購買契約ノ都度其ノ註文要領(發註者、受註者、發註番號、發註年月日、品名、數量、單價、代價、規格ノ概要、納入期共ノ他)ヲ朝鮮、臺灣若ハ滿洲國關係ノモノハ夫々京城、臺北在勤武官若ハ在滿大使館附武官ニ又關東州關係ノモノハ旅順要港部主計長及在滿大使館附武官ニ通知スルト共ニ其ノ寫一通ヲ經理局ニ送付スルモノトス

<p>二、海軍關係民間受註工場軍需品タル原材料ヲ註文スル場合ハ該工場ノ契約元タル經理局又ハ各契約廳ニ於テ前號ニ準シ處理スルモノトス</p> <p>三、經理局及各契約廳ハ前二號ノ註文ニ關シ必要ニ應ジ事前ニ京城、臺北在勤武官、旅順要港部主計長又ハ在滿大使館附武官ト協議スルモノトス</p> <p>四、京城、臺北在勤武官、旅順要港部主計長及在滿大使館附武官ハ前諸號ニ基キ業者其ノ他ニ就キ註文品ノ確實ナル入手(數量及納入期ノ確保、輸送ノ遲延防止等)ヲ圖ルモノトス</p> <p>五、經理局ハ半年毎ニ物資別及各註文先別ニ之ガ數量、單價、代價、納入期等ノ一覽調書ヲ作製シ軍務局及關係部局ニ送付スルモノトス</p> <p>六、海軍重要物資需給事務取扱要領ニ指示セザル物資ニ關シテハ必要ニ應ジ前諸號ニ準シ處理スルモノトス</p>	
<p>經物第一七〇號</p> <p>昭和十四年九月一日</p> <p>關係各廳長殿</p> <p>海軍省經理局長</p>	
<p>前金拂又ハ概算拂契約者ニ關スル件通知</p> <p>昭和十三年三月經物第一〇六號第一項第四號ニ依ル首題ノ件左記ノ通承認致候</p> <p>記</p>	
社名	住所
株式會社梅村組	佐世保市白南町一一一
黒川 敏 郎	吳市中通三ノ一〇
臺灣拓殖株式會社	臺北市榮町三ノ一
ビチウマルス工業株式會社	大阪市西區土佐堀一ノ一
株式會社横田工商社	東京市麻布區新廣尾町三ノ八五
愛國産業株式會社	川崎市藤崎町二ノ一〇八
株式會社宮製網所	東京市城東區南砂町六ノ四一〇
倉田伊太郎	横須賀市安浦町二ノ八
星野 正之	東京市板橋區志村清水町四二三
株式會社大阪電機工業所	大阪市東淀川區本庄川崎町四ノ一
株式會社小島鐵工所	高崎市歌川町八

<p>林 丑三郎        羅津府濱町一ノ二六九        大阪市西區江戸堀南通一ノ三七</p>	<p>但シ報酬年額千貳拾圓ヲ給シ部内限委任官待遇トス(以上請同)        囑 託 小坂 秀雄</p>
<p>株式會社 大阪電氣商會        大阪燧房商會</p>	<p>海軍艦政本部長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(請海軍大臣) 海軍主計特務少尉 吉村 票思        初鷹艦裝具ニ要スル經費支拂ノ爲臨時資金前渡官吏ヲ命ス(請支出官海軍省經理局長) 海軍少佐 馬場 金治        報道部第一課兼務ヲ命ス(ハテシ請大本營海軍部)</p>
<p>北海道廳技師 林 常夫        海軍航空本部ニ於ケル内地産木材材料ニ關スル業務囑託ヲ解ク(ハテシ請海軍省) 陸軍少將 長谷川 治良</p>	<p>○雜 款        ○將旗掲揚        横須賀防備隊司令官ハ八月三十日將旗ヲ沖島ニ掲揚セリ</p>
<p>海軍火藥本廠ニ於ケル研究業務囑託ヲ解ク 陸軍砲兵中佐 關 重永        海軍火藥本廠ニ於ケル研究業務ヲ囑託ス 遞信技師 飯田 嘉六</p>	<p>○郵便物發送先        第一航空戰隊司令部、軍艦赤城、第二十九驅逐隊宛        九月二十二日迄ニ到達見込ノモノハ 聯合艦隊司令部ニ同ジ        九月二十六日迄ニ到達見込ノモノハ 別 府</p>
<p>海軍省事務囑託ノ報酬トシテ百五拾圓ヲ贈與ス 小坂 秀雄        海軍省事務囑託ヲ解ク</p>	<p>驅逐艦沖風宛        自 今 横 須 賀</p>
<p>海軍ニ於ケル造兵業務ヲ囑託シ部内限委任官待遇トス 佐々 良        高雄海軍航空隊ニ於ケル齒科治療業務ヲ囑託ス</p>	

海軍公報(部内限) 第三千三百號 昭和十四年九月一日

○残務整理

第六艦隊司令部残務整理事務所ヲ本一日横須賀鎮守府内ニ設置シ海軍中佐堀江朝茂之ヲ行フ

第十三戦隊司令部残務整理事務所ヲ本一日横須賀防備戦隊司令部（沖島）内ニ設置シ海軍少佐黒木照男之ヲ行フ

第三水雷戦隊司令部残務整理事務所ヲ本一日海軍水雷學校内ニ設置シ海軍中佐宮坂義登之ヲ行フ

第三潜水戦隊司令部残務整理事務所ヲ本一日海軍潜水學校内ニ設置シ海軍大尉栗栖敏雄之ヲ行フ

本年名古屋ニ於ケル海軍軍人ノ第二種軍裝着用期限ヲ九月十七日（日）迄ト定ム

（名古屋海軍監督長）

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ホ「フ」  
指定ヲ要セズ

○九月一日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、鈴谷▲、木曾▲、愛宕▲、  
足柄、高雄、五十鈴、駒橋、陸奥、山城、

▷長鯨

島風▲、灘風▲、▽朝雲▲、夏雲▲、峯雲▲、

山雲▲、▽曉、狭霧

伊一三三▲、伊一二四▲

富士▲、膠州、洲崎▲、鳴戸

(高崎)、(翔鶴)、(伊一七)▲

【長浦】▽春風、旗風、汐風、▽響、雷、電

呂五五、呂五六、伊六、呂五四、▽呂五八、  
呂五七、呂五九

【石川島】▽沼風、野風

【横濱】(香取)

浦賀▲、北上▲

漣

(不知火)▲、(早潮)▲

【館山】

澤風

【大湊】葵▲

【函館】▽菊▲、萩

【吳】矢矧、淺間、淀、比叡▲、神通▲、日向▲、熊野▲、  
鳳翔、古鷹、最上、殿島▲、加吉、▽鳥海、  
摩耶、▷利根、筑摩、▷那珂、▷蒼龍、

▷劍崎、龍驤、大井、▷白鷹、▷大鯨

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、刈萱、  
敷波、磯波▲、矢風、▽霞、霞、▽東雲、  
叢雲、薄雲、▽朧、潮、曙、▽天霧、朝霧、  
夕霧、▽初雪、白雪、吹雪

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、  
呂二八▲、伊五一、伊六七▲、▽伊一二一、  
伊一二二、▽伊七〇、▽伊六二、伊六四、  
伊六一▲、伊六九、▽伊五、伊四、▽伊五五、  
伊五三、伊五四、▽伊六〇、伊五九、伊七、  
伊七五、伊七四、▽伊七三、伊七二、  
伊七一、▽呂三四、呂三三、伊八、  
伊七一、伊二、伊三

雁

攝津▲、明石▲、間宮

(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

【和歌浦】▽長門、伊勢、扶桑、▷阿武隈、山良、鬼怒、  
川内、▷赤城

▽村雨、春雨、夕立、五月雨、▽若葉、初春、  
子日、初霜、▽江風、涼風、山風、海風、  
追風、疾風

隱戸

【大阪】天龍▲、▷沖島

▽彌生▲、卯月▲、如月▲、夕月、▽菊月、  
帆風、三日月

【神 戸】 (黒潮)▲、(夏潮)▲  
伊六八▲、伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲

【相生】 (初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲  
神風、波風▲、朝顔▲、伊芙蓉

【玉】 (初應)▲  
呂六二▲

【因ノ島】 水無月▲、卓月▲  
【小松島】 霧島、金剛

【江田内】 平戸▲  
【舞 鶴】 吾妻▲、迅鯨▲、多摩▲  
伊五二

【佐世保】 (陽炎)▲、(親潮)▲  
常磐、那智▲、青葉▲、衣笠▲、加賀、能登呂、  
龍田、千歳、榛名、飛龍

梨、竹、榎、桃、柳、檜、蕁、蓼、蓬、菱、  
巨葦▲、柿▲、楡▲、巨文月、長月、巨荒潮、

大潮、朝潮、満潮、陸月▲、望月▲、峯風  
呂三〇▲、呂三一、呂三二、呂六〇▲、  
呂六一▲、巨呂六六、呂六五、呂六七▲、  
巨伊六六、伊六五

巨真鶴、千鳥、友鶴▲、初雁  
掃一一、掃一二

【長 崎】 敷島▲、鶴見、佐多、早瀬、室戸  
(雪風)▲、(磯風)▲、(伊一八)▲  
羽黒▲

【作業地】 巨出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、  
熱海、二見、伏見、巨瑞穂、球磨、巨妙高、  
名取、巨長良、巨嵯峨、千代田、勝力、夕張、  
巨八雲、磐手

栗、榎、蓮、巨夕風、朝風、巨松風、朝風、  
巨白露、有明、夕暮、時雨、巨秋風、羽風、  
大刀風、夕風、巨綾波、浦波

伊六三  
巨隼、鴨、鴻、鵠、鷺、鳩、雉

巨掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、  
巨掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、  
巨掃一七、掃一八、巨掃一〇、掃八、掃九、  
掃七

朝日、大泊、襟裳、知床、尻矢、野島

【航海中】

石廊 (八月三十日岸和田發一吳へ)

沖風 (八月三十日佐世保發一横須賀へ)

白雲 (八月三十日岸和田發一舞鶴へ)

巨呂六三、呂六四、呂六八 (八月三十日岸和田發一  
佐世保へ)

八重山 (八月三十一日大阪發一佐世保へ)

0731

(限 内 部)

# 海軍公報(部内限)第三千三百一號

海軍大臣官房

昭和十四年九月二日(土)

## ○令 達

官房機密第五四八七號

左記ニ依リ横須賀海軍航空隊ニ於テ雷爆兵器關係員臨時講習ヲ施行ス

關係所轄長ハ講習員ヲ派遣スルト共ニ其ノ官職氏名ヲ横須賀海軍航空隊司令ニ通報スベシ

昭和十四年九月一日

海 軍 大 臣

記

一、期 間

自昭和十四年九月十一日  
至昭和十四年九月三十日

二、講習項目

(一) 航空兵器(雷撃兵器ヲ除ク)ノ大要

(二) 新式雷撃兵器ノ概要

(三) 掌飛行長要務ノ概要

三、參加員

(一) 指導官及同補佐

指導官 横須賀海軍航空隊司令

指導官補佐 横須賀海軍航空隊職員、員數適宜

(二) 講習員

昭和十四年九月一日兵科ヨリ航空科ニ轉科セル雷爆兵器關係特務士官、准士官

四、所要經費

横須賀以外ノ地ヨリ派遣ノ參加員ニ對スル旅費ハ講習開始前日横須賀着終了當日同地發トシ軍事費、雜給及雜費、内國旅費、出張旅費支辨請求ヲ俟テ別途配付ス

官房機密第五五一七號

提 要

支那事變ニ關シ海軍給與令第五表航海加俸表第四欄所定ノ地域ニ行動スル艦船ノ乗員タル下士官兵ノ航海加俸ハ同表第四欄額ト在外海軍部隊艦船臨時給與令施行細則第一表ノ在勤加俸トヲ比較シ其ノ多額ニ付之ヲ支

海軍公報(部内限)第三千三百一號

昭和十四年九月二日

一〇〇九

給ス

昭和十四年九月二日

海軍大臣

○通牒

海人第二四二號

昭和十四年九月一日

海軍省人事局長

各所轉長殿

轉科任用者ノ命課及級俸ニ關スル件申進

昭和十四年九月一日附航空科ニ轉科任用セラレタル特務士官、准士官ハ別ニ辭令ヲ用ヒズシテ從前ノ級俸ヲ賜給セラレタルモノトシ又轉科ニ伴ヒ他ニ補命セラルベキ者ノ外ハ別ニ辭令ヲ用ヒズシテ從前ノ職ニ補命セラレタルモノト御了知相成度依命

○辭令

海軍艦政本部附兼造兵監督官

海軍技師 永野 徳志

名古屋屋監理官ヲ命ス(請海軍省)

○雜款

○將旗復歸

第一聯合航空隊司令官ハ木更津航空隊ニ將旗ヲ復歸セリ

○郵便物發送先

驅逐艦峯風宛

自今

佐世保

第十六號掃海艇宛

自今

第三海軍軍用郵便所氣付

第十三號掃海艇宛

九月三日以後

旅順要港部氣付

第十一掃海隊軍醫長宛

第十三號掃海艇

麻里布海軍航空隊(假稱)宛

九月七日迄ニ到達見込ノモノハ

吳海軍航空隊内

麻里布海軍航空隊設立準備事務所

同日以後

山口縣玖珂郡川下村 同 右

特設運送船衣笠丸宛

自今

横須賀郵便局氣付



0733

○事務所開設  
京城在勤海軍武官事務所ヲ九月一日左記ノ所ニ開設セ

記

京城府南山町三丁目三十二番地

電話本局 八二四番

追テ自今郵便物發送先ハ總テ同所宛トセラレ度

海軍公報(部内限) 第三千三百一號 昭和十四年九月二日

一〇一一

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○九月二日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈、鈴谷▲、木曾、愛宕▲、足柄、高雄、五十鈴、駒橋、陸奥、山城、長鯨

島風▲、灘風▲、朝雲▲、夏雲▲、峯雲▲、山雲▲、口曉、狹霧▲

伊一二三▲、伊一二四▲

富士▲、膠州、洲崎▲、鳴戸

(高崎)、(翔鶴)、(伊一七)▲

【長浦】春風、旗風、汐風、口響、雷、電、沖風

呂五五、呂五六、伊六、呂五四、呂五八、呂五七、呂五九

【石川島】沼風、野風

【横濱】(香取)

浦賀▲、北上▲

漣

(不知火)▲、(早潮)▲

【館山】澤風

【大湊】葵▲

【函館】菊▲、萩

【吳】矢矧、淺間、淀、比叡▲、神通▲、日向▲、熊野▲、鳳翔、古鷹、最上、嚴島▲、加古、▽鳥海、摩耶、▽利根、筑摩、▽那珂、▽蒼龍。

▽劍埼、龍驤、大井、▽白鷹、▽大鯨

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、刈萱、敷波、磯波▲、矢風、口霞、霞、口東雲、叢雲、薄雲、口朧、潮、曙、口天霧、朝霧、夕霧、口初雪、白雪、吹雪

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、伊六七▲、伊一二一、伊一二二、伊七七〇、伊六六二、伊六四、伊六一▲、伊六九、伊五、伊四、伊五五、伊五三▲、伊五四、伊六〇、伊五九、伊七、伊七五、伊七四、伊七三、伊七二、伊七一、口呂三四、呂三三、伊八、伊伊一、伊二、伊三

雁

攝津▲、明石▲、間宮

(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

【和歌浦】口長門、伊勢、扶桑、▽阿武隈、山良、鬼怒、▽川内、▽赤城

口村雨、春雨、夕立、五月雨、口若葉、初春、子日、初霜、口江風、涼風、山風、海風、口追風、疾風

隱戸

【大阪】天龍▲、▽沖島

口彌生▲、卯月▲、如月▲、夕月、帆風

(黒潮)▲、(夏潮)▲

【神戶】伊六八▲、伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲

【相生】(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲

【相生】神風、波風▲、朝顔▲、伊芙蓉

【玉】(初鷹)▲

【因ノ島】呂六二▲

【小松島】水無月▲、皐月▲

【江田内】霧島、金剛

【舞鶴】平戸▲

【舞鶴】吾妻▲、多摩▲

【舞鶴】白雲

伊五二

(陽炎)▲、(親潮)▲

【佐世保】常磐、那智▲、青葉▲、衣笠▲、加賀、能登呂、

龍田、千歲、榛名、飛龍

梨、竹、樞、桃、柳、檜、葦、蓼、蓬、菱、

【華】柿▲、楡▲、文月、長月、荒潮、

大潮、朝潮、滿潮、睦月▲、望月▲、峯風

呂三〇▲、呂三一、呂三二、呂六〇▲

呂六一▲、呂六六、呂六五、呂六七▲

伊六六、伊六五、呂六三、呂六四、呂六八

【真鶴】千鳥、友鶴▲、初雁

掃一、掃二

敷島▲、鶴見、佐多、早鞆、室戸

【雪風】▲、(磯風)▲、(伊一八)▲

【長崎】羽黒▲

【作業地】口出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、

熱海、二見、伏見、口瑞穂、球磨、口妙高、

名取、長良、嵯峨、千代田、勝力、夕張、

八雲、磐手

栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、

白露、有明、夕暮、時雨、秋風、羽風、

太刀風、夕風、綾波、浦波

伊六三

隼、鴨、鴻、鵠、鷺、鳩、雉

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、

掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、

掃一七、掃一八、掃一〇、掃八、掃九、

掃七

朝日、大泊、襟裳、知床、尻矢、野島

【航海中】

石廊 (八月三十日岸和田發—吳)

八重山 (八月三十一日大阪發—佐世保)

迅鯨 (一日舞鶴發—横須賀)

伊菊月、三日月 (一日大阪發—佐世保)

# 海軍公報(部内限)第三千三百二號

海軍大臣官房

昭和十四年九月四日(月)

## ○通牒

海人第二四四號

昭和十四年九月二日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

特殊技術者等ノ應召者調ノ件照會

今次事變ノ爲陸軍ニ應召現ニ從軍中ノ者ニ對スル首題ノ件別紙様式ニ依リ調査ノ上來九月十五日迄ニ當局ニ到達スル様回答相成度

追テ特殊技術者等ノ範圍左ノ如シ

一、昭和十四年十二月一日ニ於テ應召後(現役兵ハ入營後)二箇年以上經過スル者中

イ、學校卒業者使用制限令ニ依ル指定學校ノ指定

學科ヲ修業セル者又ハ之ニ準スル者

ロ、其ノ他各機構内ニ於テ特殊ノ技能ヲ有シ特ニ

必要ナル者

(別紙二葉添)

航本機密第八八一七號

昭和十四年九月二日

海軍航空本部總務部長

關係各廳長殿

シーシー同調發射裝置突棒發條ニ關スル

件申進

首題ノ件ニ關シテハ昭和十二年航本機密第二一六二號ニ依リ舊發條(兩端共平坦)ハ不良ナルヲ以テ使用セザルコトナリ居レル處供給受入時ノ錯誤等ノ爲誤テ使用サレアル疑アルヲ以テ必ズ新發條(兩端共平坦ナラズ)ヲ使用サル様特ニ留意相成度

## ○辭令

海軍中佐 島 峯次

海軍軍事普及部委員ヲ命ス

海軍航空本部造兵監  
督官海軍機關大佐

山下 茂治

名古屋監理官ヲ命ス(以上均海軍省)

(各通)

海軍大佐 石川 信吾  
同 矢野 英雄

第一課勤務ヲ命ス(請海軍省軍務局)

○ 雜 款

○將旗掲揚

聯合艦隊司令長官ハ九月一日將旗ヲ長門ニ掲揚セリ

○旗艦復歸

第一根據地隊司令官ハ九月一日旗艦ヲ飛鳥ヨリ朝日ニ復歸セリ

○郵便物發送先

特務艦大泊宛

當分ノ間

樺太大泊

○殘務整理

第十防備隊殘務整理事務所ヲ本月一日吳防備隊内ニ設置シ海軍中佐小田原憲一之ヲ行フ

○第二種軍裝着用期限

新潟縣地方ニ於ケル海軍軍人ノ第二種軍裝着用期限ヲ來九月十七日(日)迄トス

(新潟地方海軍人事部長)

○懲罰

懲罰言渡書

0738

海軍公報（部内限）第三千三百二號

昭和十四年九月四日

一〇一七

0739

海軍公報(部内限)第三千三百二號

昭和十四年九月四日

一〇二八

0740

海軍公報(部内限) 第三千三百二號

昭和十四年九月四日

一〇一九



考 備	4	3	2	1	順位	性	特殊	特殊技術者等ノ應召連名簿	應	名					
					ノ	兵	兵				科	官	役	徵	氏
一、本連名簿ハ特殊性ノ順位ヲ第一義トシテ記載シ應召中ノ特殊技術者全員ノ連名簿トス 二、將校ニハ徵集年ヲ要セス 三、應召期間ハ昭和十四年十二月一日ヲ以テ計算スルモノトス 四、現ニ從軍中ノ部隊名ハ判明ノ範圍ニ於テ成ルヘク詳細ニ記入スルモノトス 五、特殊性ノ詳細ナル理由ハ最モ具體的ニ明確ニ記載スルモノトス 六、本連名簿ハ四通宛提出スルモノトス 本記載不備ナルトキハ特殊性ヲ認メス					兵	步	兵								
					尉	少	官								
					役	備	種								
							年								
					檜	原	一	郎							
					八、二	昭三二	二	二							
					ケ	月	期	間							
					鈴木	部	隊								
					隊	補	充								
					計	技	師								

別紙様式第二

(昭和十四年九月四日公報(部内限))

考 備	3/20	兵 伍 後	昭和八年	登坂三郎	三重縣四日市市山伏町二一	津	昭二九年六月九	津歩兵第三聯隊充	...	...	...	特殊技術者等ノ應召部隊別連名簿(現在ノ應召部隊)	
												科 兵	官 役
一、特殊性ノ順位ハ別紙第一特殊技術者等ノ應召連名簿ニヨル總人員二十名中ノ第三位ヲ現ハス 本連名簿ハ應召セル同一部隊毎ニ別紙トス 二、將校ノ徵集年ハ記入スルヲ要セス 三、本連名簿ハ六部宛提出スルモノトス												應	名

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ホ「フ」指定ヲ要セズ

○九月四日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、鈴谷▲、木曾▲、愛宕▲、足柄▲、高雄▲、五十鈴▲、駒橋▲、陸奥▲、山城▲、長鯨▲、▽沖島

島風▲、灘風▲、▽朝雲▲、夏雲▲、峯雲▲、山雲▲、▽曉▲、狭霧▲

伊一二三▲、伊一二四▲、富士▲、膠州▲、洲崎▲、鳴戸

【長浦】  
▽春風▲、旗風▲、汐風▲、▽響▲、雷▲、電▲、沖風▲、帆風▲  
(高崎)▲、(翔鶴)▲、(伊一七)▲

呂五五、呂五六、伊六、呂五四、▽呂五八、呂五七、呂五九

【石川島】  
▽沼風▲、野風▲

【横濱】  
(香取)

【浦賀】  
北上▲

漣

(不知火)▲、(早潮)▲

【館山】  
澤風

【大湊】  
葵▲

【函館】  
▽菊▲、萩

【吳】  
矢矧▲、淺間▲、淀▲、比叡▲、神通▲、日向▲、熊野▲、鳳翔▲、古鷹▲、最上▲、嚴島▲、加古▲、▽鳥海▲

摩耶▲、▽利根▲、筑摩▲、▽那珂▲、▽若龍▲、劍埼▲、龍驤▲、大井▲、▽白鷹▲、▽大鯨

夕顔▲、吳竹▲、若竹▲、早苗▲、薄▲、藤▲、葛▲、刈萱▲、敷波▲、磯波▲、矢風▲、霞▲、▽霞▲、▽東雲▲、叢雲▲、薄雲▲、▽朧▲、潮▲、曙▲、▽天霧▲、朝霧▲、夕霧▲、▽初雪▲、白雪▲、吹雪

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、呂二八▲、伊五一、伊六七▲、▽伊一二一、伊一二二、▽伊七〇、▽伊六二、伊六四、伊六一▲、伊六九、▽伊五、伊四、▽伊五五、伊五三▲、伊五四、▽伊六〇、伊五九、伊七、伊七五、伊七四、▽伊七三、伊七二、伊七一、▽呂三四、呂三三、伊八、伊一、伊二、伊三

雁

攝津▲、明石▲、間宮▲、石廊

【和歌浦】  
▽長門▲、伊勢▲、扶桑▲、▽阿武隈▲、山良▲、鬼怒▲、▽川内▲、▽赤城

▽村雨▲、春雨▲、夕立▲、五月雨▲、▽若葉▲、初春▲、子日▲、初霜▲、▽江風▲、涼風▲、山風▲、海風▲、▽追風▲、疾風

【大阪】  
天龍▲

▽彌生▲、卯月▲、如月▲、夕月

(黒潮)▲、(夏潮)▲

【神 戸】 伊六八▲、戸伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲

【相生】 (初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲

【相 生】 神風、波風▲、朝顔▲、戸芙蓉

【玉】 (初鷹)▲

【因ノ島】 呂六二▲

【江田内】 水無月▲、臯月▲

【舞 鶴】 平戸▲

【舞 鶴】 吾妻▲、多摩▲

【舞 鶴】 白雲

【舞 鶴】 伊五二

【佐世保】 (陽炎)▲、(親潮)▲

常磐、那智▲、青葉▲、衣笠▲、加賀、能登呂、

龍田、千歳、榛名▲、飛龍、八重山

梨、竹、樞、桃▲、柳、檜、蕁、蓼、蓬、菱、

戸葦▲、柿▲、楡▲、戸文月、長月、戸荒潮、

大潮、朝潮、満潮、戸菊月、三日月、陸月▲

望月▲、峯風

戸三〇▲、戸三一、戸三二、戸六〇、

戸六一▲、戸六六、戸六五、戸六七、

戸伊六六、戸伊六五、戸伊六三、戸伊六四、戸伊六八

戸真鶴、千鳥、友鶴▲、初雁

掃一、掃二

敷島▲、鶴見、佐多、早鞆、室戸

【長 崎】 (雪風)▲、(磯風)▲、(伊一八)▲

【長 崎】 羽黒▲

【作業地】 戸出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、

熱海、二見、伏見、戸瑞穂、球磨、戸妙高、

名取、戸長良、戸嵯峨、千代田、勝力、夕張、

戸八雲、磐手

栗、梅、蓮、戸夕風、朝風、戸松風、朝風、

戸白露、有明、夕暮、時雨、戸秋風、羽風、

太刀風、夕風、戸綾波、浦波

伊六三

戸隼、鴨、鴻、鶴、鷺、鳩、雉

戸掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、

戸掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、

戸掃一七、掃一八、戸掃一〇、掃八、掃九、

掃七

戸朝日、大泊、襟裳、知床、尻矢、野島

【航海中】

迅鯨 (一日舞鶴發—横須賀)

隠戸 (三日和歌浦發—宿毛)

戸霧島、金剛 (四日小松島發—宿毛)

# 海軍公報 (部内限) 第三千三百三號

昭和十四年九月五日(火)  
海軍大臣官房

## ○令 達

官房機密第五五四號

昭和十四年九月五日

海軍大臣

各鎮守府司令長官殿

下士官及兵服役延期ニ關スル件訓令

昭和十四年十一月現役滿期トナルベキ下士官及兵ハ海軍武官服役令第三條第一項第一號、海軍志願兵令第十四條第一項第一號及兵役法第十九條第一項第一號ノ規定ニ依リ當分ノ間服役延期方取計フベシ

## ○通 牒

官房第四六三〇號

昭和十四年九月五日

海軍省副官

關係各廳長殿

令達書類自然消滅ノ件通知

昭和二年官房第一三三三號令達ハ自然消滅ノコトト承知相成度

参照 當分ノ間各航空隊航空母艦整備教育用トシテ廢航空兵器貸與ノ件ナリ

## ○辭 令

第四艦隊ニ於ケル事務囑託

金森 三郎

自今報酬年額貳千五百貳拾圓ヲ給ス(訪海軍省)

關東局技師 清水 木之助

旅順要港部ニ於ケル事務囑託ノ報酬トシテ貳百六拾

參圓ヲ贈與ス

旅順要港部ニ於ケル事務囑託ヲ解シ

關東局技師 丸山 悦三

旅順要港部ニ於ケル事務ヲ囑託ス(以上訪同)

第四艦隊ニ於ケル事務囑託

中島 有恒

自今報開年額參千百貳拾圓ヲ給ス(以上同)

近藤 英兒

支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ノ報酬トシテ八百圓ヲ贈與ス

支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(以上同)

海軍中將 住山 徳太郎

海軍武官任用委員長ヲ命ス

海軍武功調査委員ヲ命ス

思想調査委員會委員長ヲ命ス

二千六百年委員會委員長ヲ命ス

燃料政策調査委員長ヲ命ス

軍港要港勢力標準調査委員會委員長ヲ命ス

海軍懲罰令改正委員會委員長ヲ命ス

支那事變從軍記章授與調査委員長ヲ命ス

海軍少將 御宿 好

兵食研究調査委員會委員長ヲ命ス

海軍武功調査委員ヲ命ス

燃料政策調査會委員ヲ命ス(以上諸同)

海軍大佐 朝倉 豊次

海軍生徒採用試験當置委員ヲ命ス

海軍中佐 島 峯次

高等軍法會議判士ヲ命ス

東京軍法會議判士ヲ命ス

二千六百年委員會委員(幹事)ヲ命ス

海軍中佐 松島 慶三

高等軍法會議判士ヲ免ス

東京軍法會議判士ヲ免ス

遞信技師 中村 香苗

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ百六拾圓ヲ贈與ス

海軍省事務囑託ヲ解ク

同 佐々木 卓夫

海軍省事務ヲ囑託ス(以上諸同)

海軍機關大佐 山下 茂治

在名古屋監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上諸海軍航空本部)

○ 雜 款

○將旗一時移揚

第二根據地隊司令官ハ九月二日將旗ヲ一時曠峨ヨリ第三防備隊ニ移揚セリ

0747

○司令驅逐艦變更  
第十八驅逐隊司令ハ九月二日司令驅逐艦ヲ霞ヨリ霞ニ  
變更セリ

○郵便物發送先

第二航空戰隊司令部、軍艦蒼龍、龍驤、第十二驅逐  
隊宛

九月 八 日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 伯

同 二十 日迄ニ 同 志 布 志

同 二十六日迄ニ 同 鹿 兒 島

特務艦尻矢宛

自 今

横須賀郵便局留置

海軍公報(部内限) 第三千三百三號 昭和十四年九月五日

一〇二五

○艦船所在

指印ハハホ  
定シ要セズ

○九月五日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、鈴谷▲、木曾▲、愛宕▲、  
足柄▲、高雄▲、五十鈴▲、駒橋▲、陸奥▲、山城▲、  
長鯨▲、▽沖島、迅鯨

島風▲、灘風▲、▽朝雲▲、夏雲▲、峯雲▲、  
山雲▲、▽曉▲、狹霧▲

伊一二三▲、伊一二四▲

富士▲、膠州、洲崎▲、鳴戸

(高崎)、(翔鶴)、(伊一七)▲

【長浦】

春風▲、旗風▲、汐風▲、▽響▲、電▲、沖風▲、帆風▲、  
呂五五、呂五六、伊六、呂五四、▽呂五八、  
呂五七、呂五九

【石川島】

沼風▲、野風

【横濱】

(香取)

浦賀▲

北上▲

漣

(不知火)▲、(早潮)▲

【館山】

澤風

【大湊】

葵▲

【函館】

▽菊▲、萩

【吳】

矢矧、淺間、淀、比叡▲、神通▲、日向▲、熊野▲、  
鳳翔、古鷹、最上、嚴島▲、加古、▽鳥海、  
摩耶、▽利根、筑摩▲、▽那珂、▽劍崎、

大井、▽白鷹、▽大鯨

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、刈萱、  
敷波、磯波▲、矢風、霞、▽叢、▽東雲、  
薄雲、▽朧、潮、曙、▽天霧、朝霧、夕霧、  
▽初雪、白雲、吹雪

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、  
呂二八▲、伊五一、伊六七▲、▽伊一二一、  
伊一二二、▽伊七〇、▽伊六二、伊六四、  
伊六一▲、伊六九、▽伊五、伊四、▽伊五五、  
伊五三▲、伊五四、▽伊六〇、伊五九、伊七、  
伊七五、伊七四、▽伊七三、伊七二、  
▽伊七一、▽呂三四、呂三三、伊八、  
▽伊一、伊二、伊三

雁

攝津▲、明石▲、間宮、石廊

(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

【大阪】

天龍▲

▽彌生▲、卯月▲、如月▲、夕月

(黒潮)▲、(夏潮)▲

【神戸】

伊六八▲、▽伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲

(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲

【相生】

神風、波風▲、朝顔▲、▽芙蓉

(初鷹)▲

【玉】

呂六二▲

【因ノ島】

水無月▲、草月▲



【江田内】平戸▲

【宿毛】隠戸

【佐伯灣】蒼龍、龍嶺

【舞鶴】吾妻▲、多摩▲

【白雲】伊五二

【伊五二】(陽炎)▲、(親潮)▲

【佐世保】

常磐、那智▲、青葉▲、衣笠▲、加賀、能登呂、

龍田、千歳、榛名▲、飛龍、八重山

梨、竹、榎、桃▲、柳、檜、蕙、蓼、蓬、菱、

大湖、朝潮、滿潮、白菊月、三月月、睦月▲、

望月▲、峯風

呂三〇▲、呂三一、呂三二、呂六〇、

呂六一▲、呂六六、呂六五、呂六七、

呂六六、伊六五、呂六三、呂六四、呂六八

眞鶴、千鳥、友鶴▲、初雁

掃一、掃二

敷島▲、鶴見、佐多、早鞆、室戸、知床

(雪風)▲、(磯風)▲、(伊一八)▲

【長崎】羽黒▲

【作業地】出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、

熱海、二見、伏見、口瑞穂、球磨、口妙高、

名取、長良、嵯峨、千代田、勝力、夕張、

▷八雲、磐手

栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、

白露、有明、夕暮、時雨、秋風、羽風、

太刀風、夕風、綾波、浦波

伊六三

伊六三

伊六三、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、

掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、

掃一七、掃一八、掃一〇、掃八、掃九、

掃七

▷朝日、大泊、襟裳、尻矢、野島

【航海中】

▷霧島、金剛(四日小松島發—宿毛)

▷長門、伊勢、扶桑、阿武隈、山良、鬼怒、川内、

▷村雨、春雨、夕立、五月雨、若葉、初春、子日、

初霜、江風、涼風、山風、海風(四日和歌浦發

—宿毛)

▷赤城、追風、疾風(四日和歌浦發—細島ヲ經テ

宿毛)

雷(四日長浦發—房總沖)

# 海軍公報 (部内限) 第三千三百四號

昭和十四年九月六日(水)  
海軍大臣官房

## ○ 辭 令

海軍燃料廠實驗部部長 嘉納 吉彦  
海軍燃料廠實驗部長 缺員 中同部ノ收入ノ歳入徴收官  
ヲ命ズ  
海軍燃料廠實驗部長 缺員 中同部ノ支拂ニ屬スル經費  
ノ支出官ヲ命ズ (各通 海軍省)

(各通)

造兵業務ヲ囑託シ部内限判任官ヲ以テ待遇セラル

力野 貞夫  
山口 末吉  
杉山 倉市  
橋 宗雄  
出端 兼三郎  
山崎 彌之吉  
原田 邦太郎  
長谷 善吉  
濱田 茂男  
秋元 寅夫

(各通)

造兵業務ヲ囑託ス (以上訪海軍艦政本部)

## ○ 雜 款

○司令驅逐艦一時變更  
第十二驅逐隊司令ハ九月四日司令驅逐艦ヲ東雲ヨリ叢  
雲ヘ一時變更セリ

○軍艦長鯨行動豫定

地 名 着

發

海軍公報 (部内限) 第三千三百四號 昭和十四年九月六日

一〇二九

横須賀	九月十一日	九月七日
大泊	九月十六日	九月十三日
舞鶴	九月二十二日	九月十八日
横須賀		

○郵便物發送先  
軍艦長鯨宛

九月十七日迄ニ到達見込ノモノハ 舞鶴  
同 二十六日迄ニ 同 横須賀

第一聯合航空隊司令部、木更津海軍航空隊本隊、鹿屋海軍航空隊本隊宛  
自今 佐世保郵便局氣付

木更津海軍航空隊殘留隊、鹿屋海軍航空隊殘留隊宛  
各所在地

司令及隊宛ノモノハ 蔽  
追テ司令及隊宛ニシテ各艦ニ關係アルモノハ各艦ニ  
モ送付相成度

(第十八驅逐隊)

司令及主計長宛 第十號掃海艇  
隊機關長、軍醫長宛 第八號掃海艇  
追テ隊及司令宛書類ニシテ各艇ニ關係アルモノハ各  
寫ヲ各船別ニ送付相成度  
(第二十一掃海隊)

○艦船所在

▲印ハハホフ  
指定ヲ要セズ

○九月六日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈、鈴谷▲、木曾、愛宕、足柄、高雄▲、五十鈴、駒橋、陸奥、山城、長鯨、▽沖島、迅鯨

島風▲、灘風▲、▽朝雲▲、夏雲▲、峯雲▲、山雲▲、▽曉、狭霧▲

伊一二三▲、伊一二四▲

富士▲、膠州、洲崎▲、鳴戸

(高崎)、(翔鶴)、(伊一七)▲

【長浦】▽春風、旗風、汐風、▽響、電、雷、帆風

呂五五、呂五六、伊六、呂五四、▽呂五八、呂五七、呂五九

【石川島】▽沼風、野風

【横濱】(香取)

【浦賀】北上▲

漣 (不知火)▲、(早潮)▲

【館山】澤風

【大湊】葵▲

【函館】▽菊▲、萩

【吳】矢矧、淺間、淀、比叡▲、神通▲、日向▲、熊野▲

鳳翔、古鷹、最上、嚴島▲、加古、筑摩▲

▽劍埼

大井、▽白鷹、▽大鯨

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、刈萱、敷波、磯波▲、矢風、霞、▽笹、▽東雲、薄雲

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、伊六七▲、▽伊二二一、伊二二三、▽伊七〇、▽伊六二、伊六四、伊六一▲、伊六九、▽伊五、伊四、▽伊五五、伊五三、伊五四、▽伊六〇、伊五九、伊七、伊七五、伊七四、▽伊七三、伊七二、伊七一、▽呂三四、呂三三、伊八、伊七一、伊二、伊三

雁

攝津▲、明石▲、間宮、石廊

(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

【大阪】天龍▲

▽彌生▲、卯月▲、如月▲、夕月

(黒潮)▲、(夏潮)▲

【神戸】伊六八▲、▽伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲

(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲

【相生】神風、波風▲、朝顔▲、▽芙蓉

(初鷹)▲

【玉】呂六二▲

【因ノ島】水無月▲、皐月▲

【江田内】平戸▲

【宿毛】  
口長門、伊勢、扶桑、口霧島、金剛、口阿武隈、

由良、鬼怒、口川内、口赤城

口村雨、春雨、夕立、五月雨、口若葉、初春、

口追風、疾風、口江風、涼風、山風、海風、

口追風、疾風

隱戸

【佐伯灣】  
口島海、摩耶、口利根、口那珂、口蒼龍、

龍驤

口朧、潮、曙、口天霧、朝霧、夕霧、口初雪、

白雪、吹雪、叢雲

【舞鶴】  
吾妻、多摩

白雲

伊五二

(陽炎)、(親潮)

【佐世保】  
常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登呂、

龍田、千歳、榛名、飛龍、八重山

梨、竹、榎、桃、柳、檜、蕁、蓼、蓬、菱、

口葦、柿、楡、口文月、長月、口大潮、

荒潮、朝潮、滿潮、口菊月、三日月、睦月、

望月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、

呂六一、呂六六、呂六五、呂六七、

口伊六六、伊六五、呂六三、呂六四、呂六八

口真鶴、千鳥、友鶴、初雁

掃一一、掃一二

敷島、鶴見、佐多、早鞆、知床

(雪風)、(磯風)、(伊一八)

【長崎】

【作業地】  
口出雲、安宅、島羽、勢多、堅田、比良、保津、

熱海、二見、伏見、口瑞穂、球磨、口妙高、

名取、口長良、嵯峨、千代田、勝力、夕張、

口八雲、磐手

栗、榎、蓮、口夕風、朝風、口松風、朝風、

口白露、有明、夕暮、時雨、口秋風、羽風、

太刀風、夕風、口綾波、浦波、峯風、沖風

伊六三

口隼、鴨、鴻、鵠、鷺、鳩、雉

口掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、

口掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、

口掃一七、掃一八、掃一〇、掃八、掃九、

掃七

口朝日、大泊、襟裳、尻矢、野島、室戸

# 海軍公報 (部内限) 第三千三百五號

海軍大臣官房

昭和十四年九月七日(木)

## ○ 通 牒

官房第四六〇八號ノ三

昭和十四年九月七日

海軍省 副官

關係各廳長殿

報國號飛行機要目發表範圍及寫真撮影ニ關スル件通牒

來九月十六日臺北松山飛行場ニ於テ命名式舉行豫定ノ報國號飛行機ノ要目發表範圍ニ關シテハ左記ニ依ルコトト了知相成度

記

一、報國號飛行機要目發表範圍

報國號第二〇九號(臺灣鑛業號)

同 第二二〇號(臺灣電力號)

機種 艦上戦闘機

座席 一

全幅 一一・〇米

全長 七・五米  
全高 三・〇米  
二、寫真撮影(特ニ許可セラレタルモノノ外)禁止

軍務第三二五號

昭和十四年八月三十一日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

壓縮「ガス」、液化「ガス」容器取扱規則施行ニ關スル件申進

壓縮「ガス」、液化「ガス」容器取扱規則ノ實施ニ關シテハ左記ニ依リ處理相成度

記

一 第一條ニ關シ

本條ニ掲ゲタル壓縮「ガス」又ハ液化「ガス」ト雖モ左ノ如キ態様ノモノニ對シテハ本規則ヲ適用セザルモノトス  
(イ) 魚雷氣室及發射管氣蓄器

海軍公報(部内限) 第三千三百五號

昭和十四年九月七日

一〇三三

- (一)(ロ) 縦舵機調整用氣蓄器  
兵器タル空氣壓縮「ポンプ」附屬氣蓄器及同關聯裝置  
砲噴氣用氣蓄器  
冷却機、製氷機瓦斯溜  
内火機械噴射氣蓄器及内火機械起動用氣蓄器  
潜水用氣蓄器  
艦船用空氣清淨裝置附屬酸素容器  
艦船用空氣傳送器用及氣笛用氣蓄器  
其ノ他艦船竝ニ航空機及氣球ニ固定裝備セラルル容器ニシテ兵器機關等ニ附屬シ別ニ之ガ取扱ニ關シ規程アルモノ
- 二 第五條ニ關シ
- (一) 第六條第六號ニ表示セル「プロパンガス」、「ク  
ロルメチルガス」及「クロルエチルガス」ハ何レ  
モ可燃性「ガス」トシテ取扱フモノトス
- (二) 第五條第四號ニ規定スル「不燃性材料ヲ以テ築  
造シ」タルモノトハ壁體、床、柱、屋根及階段ヲ  
煉瓦、人造石、「コンクリート」、石棉盤、瓦、金  
屬、陶磁器、「ガラス」、「モルタル」、漆喰ノ類ヲ
- 以テ築造シタルモノ又ハ木造ニシテ建物ノ外部  
(建物ノ一部ヲ使用スルトキハ室ノ外部) 天井、  
床、柱及壁面ニ左ノ各號ノ一ニ該當スル被覆ヲ爲  
シタルモノヲ謂フ
- (イ) 外面ニ石、煉瓦又ハ人造石ノ類ヲ用ヒ其ノ厚  
サ九〇耗以上ノモノ
- (ロ) 瓦貼ノ上ニ「セメント、モルタル」塗トシ厚  
サ合計三五耗以上ノモノ
- (ハ) 厚サ三五耗以上ノ「セメント、モルタル」塗  
又ハ「コンクリート」塗
- (ニ) 「セメント、モルタル」塗ノ上ニ化粧煉瓦貼  
トシ厚サ合計三五耗以上ノモノ
- (ホ) 木骨土藏造ニシテ塗土、漆喰等ノ厚サ合計九  
〇耗以上ノモノ
- (ヘ) 生子板
- (三) 第五條第五號ニ規定スル毒性「ガス」ノ換氣ハ  
送風機、換氣筒若ハ錠窓ヲ設備シ又ハ建物壁體ノ  
上部若ハ下部ニ換氣口ヲ設ケシムル等ノ方法ニ依  
ルモノトス
- 三 第六條ニ關シ
- (一) 第六條第四號ニ規定スル屈曲試験、壓潰試験及

延伸試験ノ方法ハ昭和十一年八月五日内務省告示第四百三十五號壓縮「ガス」及液化「ガス」ノ容器ニ關スル屈曲、壓潰及延伸試験規程ニ示ス方法ニ依ルモノトス

(二) 第六條第十二號ノ刻印中耐壓試験年月日ハ日本紀元ヲ用フルモノトス  
例ヘバ昭和十四年七月一日ハ 2599, 7, 1トスルガ如シ

四 第十條ニ關シ

海軍工廠長又ハ要港部工作部長第九條ノ試験ヲ部外ノ者ヲシテ行ハシムル場合ハ府、縣告示ニ依ル容器耐壓試験場ヲシテ之ヲ行ハシムルモノトス

五 第十一條ニ關シ

第一項ノ上申書ニ關スル記載事項ハ同一作業ヲ繼續的ニ營ム向ニ在リテハ一定期間中ニ於ケル事項ヲ纏メテ上申認可ヲ受ケ之ヲ簡略ニスルコトヲ得  
又昭和十一年警保局警發甲第七二號改正壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法施行令ノ施行ニ關スル件通牒ニ基キ昭和十一年内務省令第二十三號ニ依ル申請書記載事項ニ關シ一括内務省ニ申請シアル民間製造所ニ於テ製作セルモノニ在リテハ製造所名ヲ以テ構造(設計

及材料ヲ含ム)、製作工程及製造所ノ設備ニ關スル事項ノ記載ニ代フルコトヲ得

六 第十五條ニ關シ

本則施行ノ際現ニ使用中ノ容器ニシテ容器證明書ナキモノハ容器證明書紛失理由書ニ容器ニ刻印シアル「マーク」、番號等ノ拓本及之ニ對スル帳籍整理上ノ番號、容器ノ購入元及製造所等容器ノ素性ヲ明ニスル資料ヲ添ヘ海軍省軍務局ニ送付スルモノトス  
海軍省軍務局ハ調査ノ上處理ニ關シ指示ス

經豫第三號ノ二二〇

昭和十四年九月六日

海軍省 經理局長

關係各支出官、資金前渡官吏殿

日本銀行代理店派出所設置ノ件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通大藏省理財局長ヨリ通牒有之候

(別紙)

藏理第五九五二號

昭和十四年八月三十一日

大藏省理財局長 相田岩夫



海軍省經理局長 武井大助殿

今般日本銀行總裁ヨリ中華民國江西省南昌ニ同行上海代理店ノ派出所ヲ設置シ九月一日ヨリ國庫金ノ出納及政府有價證券ノ受拂ニ關スル事務ノミニ限り取扱ヲ可致旨届出有之候ニ付此段及通牒候也

○辭令

軍令部出仕海軍少佐 大谷 稻穂

第三部勤務ヲ命ス(海軍司令部)

軍令部附海軍主計中尉 岡崎 三郎

(各通)

同 下村 興八郎  
同 宇野 芳夫

第三部勤務ヲ命ス(海軍司令部)

○雜款

○將旗移揚

第四根據地隊司令官ハ將旗ヲ三亞司令部ヨリ第七號掃海艇ニ移揚セリ

○司令砲艦變更

第三砲艦隊司令ハ八月十七日司令砲艦ヲ京畿丸ヨリ會

寧丸ニ變更セリ

○司令驅逐艦復歸  
第二十五驅逐隊司令ハ九月五日司令驅逐艦ヲ荒潮ヨリ大潮ニ復歸セリ

○郵便物發送先  
驅逐艦沖風宛

自今

佐世保郵便局氣付

特務艦第三十六共同丸宛

自今

佐世保郵便局留置

○殘務整理

第十一通信隊殘務整理事務所ヲ本七日横須賀海軍通信隊内ニ設置シ海軍大尉池澤正己之ヲ行フ

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○九月七日午前十時調

【横須賀】

春日、神威、三隈、鈴谷、木曾、愛宕、足柄、高雄、五十鈴、駒橋、陸奥、山城、長鯨、沖島、迅鯨

島風、灘風、朝雲、夏雲、峯雲、山雲、曉、狹霧

伊一二三、伊一二四

富士、膠州、洲崎、鳴戸

(高崎)、(翔鶴)、(伊一七)

【長浦】春風、旗風、汐風、響、電、雷、帆風

呂五五、呂五六、伊六、呂五四、呂五八、呂五七、呂五九

石川島、沼風、野風

【横濱】

(香取)

【浦賀】

北上

漣 (不知火)、(早潮)

【館山】

澤風

【大湊】

葵

【函館】

萩

【吳】

矢矧、淺間、淀、比叡、神通、日向、熊野、鳳翔、古鷹、最上、嚴島、加古、筑摩

△劍埼

大井、白鷹、大鯨、夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、刈萱、敷波、磯波、矢風、霞、叢、東雲、薄雲

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、伊五一、伊六七、伊一二一、伊一二二、伊七〇、伊六二、伊六四、伊六一、伊六九、伊五、伊四、伊五五、伊五三、伊五四、伊六〇、伊五九、伊七、伊七五、伊七四、伊七三、伊七二、伊七一、伊三四、呂三三、伊八、伊一、伊二、伊三

雁

攝津、明石、石廊

(伊九)、(伊一五)、(伊一六)

天龍

伊彌生、卯月、如月、夕月

(黒潮)、(夏潮)

伊六八、伊五七、伊五六、伊五八、(初風)、(伊二〇)、(伊二二)

神風、波風、朝顔、芙蓉

(初鷹)

呂六二

水無月、卓月

平戸

【玉】

【因ノ島】

【江田内】

【大阪】

【神戸】

【相生】

【相生】

【因ノ島】

【江田内】

海軍公報(部内限) 第三千三百五號 昭和十四年九月七日

【宿毛】

口長門、伊勢、扶桑、▽霧島、金剛、▽阿武隈、由良、鬼怒、▽川内、▽赤城、口村雨、春雨、夕立、五月雨、口若葉、初春、子日、初霜、口江風、涼風、山風、海風、口追風、疾風、隱戸

【佐伯灣】

▽鳥海、摩耶、▽利根、▽那珂、▽蒼龍、龍驤

口臘、潮、曙、口天霧、朝霧、夕霧、口初雪、白雪、吹雪、叢雲

【舞鶴】

吾妻、多摩、白雲

伊五二

【佐世保】

(陽炎) (親潮) 常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登呂、龍田、千歳、榛名、飛龍、八重山

梨、竹、榎、桃、柳、檜、董、蓼、蓬、菱、口葦、柿、楡、口文月、長月、口大潮、荒潮、朝潮、滿潮、口菊月、三日月、睦月、望月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、口呂六六、呂六五、呂六七、口伊六六、伊六五、口呂六三、呂六四、呂六八

口真鶴、千鳥、友鶴、初雁、掃一一、掃一二

【長崎】

敷島、鶴見、佐多、早鞆、(雪風)、(磯風)、(伊二八) 羽黒

【作業地】

口出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、伏見、口瑞穂、球磨、口妙高、名取、口長良、嵯峨、千代田、勝力、夕張、口八雲、磐手、栗、梅、逆、口夕風、朝風、口松風、朝風、口白露、有明、夕暮、時雨、口秋風、羽風、太刀風、夕風、口綾波、浦波、峯風、沖風、伊六三

口隼、鴨、鴻、鶴、鷺、鳩、雄、口掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、口掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、口掃一七、掃一八、口掃一〇、掃八、掃九、掃七

口朝日、大泊、襟裳、尻矢、野島、室戸

【航海中】

知床 (六日佐世保發—横須賀へ) 間宮 (七日吳發—宿毛へ)

# 海軍公報

(部内限)第三千三百六號

昭和十四年九月八日(金)  
海軍大臣官房

## ○通牒

軍務二機密第二三三七二號

昭和十四年九月八日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

兵器相互請求ノ場合ニ於ケル通報ニ

關スル件申進

兵器經理規程第二十四條ニ依リ兵器ヲ相互請求シタル時ハ必ズ同條但書(昭和十四年三月二十四日達第四十二號ヲ以テ追加)通報勵行ノコトニ取計相成度追テ從前通報洩ノ向ハ此ノ際取纏メ處理相成度

## ○雜款

○將旗移揚

第四根據地隊司令官ハ九月六日將旗ヲ第七號掃海艇ヨリ海口司令部ニ移揚セリ

○特務艦石廊行動豫定

地名 着

發

吳	府	十月十一日	九月十五日
羅	府	十月二十七日	十月十六日
ホノルル		十一月十七日	三十日

○郵便物發送先

第一聯合航空隊司令部、木更津海軍航空隊本部、鹿屋海軍航空隊本隊宛

航空郵便ハ 第六海軍軍用郵便所氣付

軍艦筑摩宛

自今 第二艦隊ニ同ジ

第十八驅逐隊機關長、軍醫長、主計長宛

自今 霞

追テ司令及隊宛ノモノハ從前通(蔽)

驅逐艦峯風宛

自今 佐世保郵便局氣付

特務艦間宮宛

九月十八日迄ニ到達見込ノモノハ 宿毛  
同 二十一日迄ニ 同 吳  
同 二十六日迄ニ 同 鹿兒島

特務艦石廊宛

九月十四日迄ニ到達見込ノモノハ 吳  
十月二十八日迄ニ 同 横須賀郵便局氣付  
其ノ後ハ 吳

特務艦大泊宛

自今 大泊郵便局氣付

特設運送船廣徳丸宛

九月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ  
岡山縣兒島郡日比野 玉造船所氣付  
其ノ後ハ 佐世保郵便局氣付

○艦裝具事務所設置

巨濟艦裝具事務所ヲ東京市京橋區佃島株式會社東京石川島造船所内ニ設置シ八月二十五日ヨリ事務ヲ開始セリ

○航空便利ノ件

當隊宛書類等ニシテ急ヲ要スルモノハ左記肩書ノ上可及的航空便ニ依リ發送相成度

第七海軍軍用郵便所氣付 記

(第五防備隊)

○艦船所在

指▲印▲ハ▲ホ▲フ  
定▲ヲ▲要▲セ▲ズ

○九月八日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、鈴谷▲、木曾▲、愛宕▲、足柄▲、高雄▲、五十鈴▲、駒橋▲、陸奥▲、山城▲、

▷沖島、迅鯨

島風▲、灘風▲、□朝雲▲、夏雲▲、峯雲▲、

山雲▲、□曉▲、狹霧▲

伊一三▲、伊一二四▲

富士▲、膠州▲、洲崎▲、鳴戸▲

(高崎)▲、(翔鶴)▲、(伊一七)▲

【長浦】春風▲、旗風▲、汐風▲、□響▲、電▲、雷▲、帆風▲

呂五五▲、呂五六▲、伊六▲、呂五四▲、□呂五八▲、

呂五七▲、呂五九▲

【石川島】沼風▲、野風▲

【横濱】(香取)▲

【浦賀】北上▲

漣▲ (不知火)▲ (早潮)▲

【箱山】澤風▲

【大湊】葵▲

【函館】□菊▲、萩▲

【吳】矢矧▲、淺間▲、淀▲、比叡▲、神通▲、日向▲、熊野▲、

風翔▲、古鷹▲、最上▲、嚴島▲、加古▲、大井▲、

▷白鷹▲

夕顔▲、吳竹▲、若竹▲、早苗▲、薄藤▲、葛▲、刈萱▲、

敷波▲、磯波▲、矢風▲、霞▲、□霞▲、□東雲▲、

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、伊五一▲、伊六七▲、□伊一二一▲、

伊一二三▲、□伊七〇▲、□伊六二▲、伊六四▲、

伊六一▲、伊六九▲、□伊一▲、伊二▲、伊三▲、

雁▲、攝津▲、明石▲、石廊▲、

(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

【大阪】天龍▲

□彌生▲、卯月▲、如月▲、夕月▲

(黒潮)▲、(夏潮)▲

【神戸】伊六八▲、□伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲

(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲

【相生】神風▲、波風▲、朝顔▲、□芙蓉▲

(初鷹)▲

【玉】呂六二▲

【因ノ島】水無月▲、皐月▲

【江田内】平戸▲

【伊豫灘】□伊七五▲

【宿毛】□長門▲、伊勢▲、扶桑▲、□霧島▲、金剛▲、□阿武隈▲、

由良▲、鬼怒▲、▷川内▲、▷赤城▲

□村雨▲、春雨▲、夕立▲、五月雨▲、□若葉▲、初春▲、

子日▲、初霜▲、□江風▲、涼風▲、山風▲、海風▲、

□追風▲、疾風▲

海軍公報(部内限) 第三千三百六號 昭和十四年九月八日

【佐伯灣】

▽島海、摩耶、▽利根、筑摩、▽那珂、▽蒼龍、龍驤、▽劍埼、▽龍、潮、▽天霧、朝霧、夕霧、▽初雪、白雪、吹雪、叢雲

▽伊七四、▽伊七三、伊七二、伊七一、

【舞鶴】

▽吾妻、多摩、伊五二

【佐世保】

(陽炎)▲、(親潮)▲、常磐、那智▲、青葉▲、衣笠▲、加賀、能登呂、龍田、千歲、榛名▲、飛龍、八重山、名取、梨、竹、樞、桃▲、柳、檜、蕁、蓼、蓬、菱、▽葦▲、柿▲、楡▲、▽文月、長月、▽大潮、荒潮、朝潮、滿潮、▽菊月、三日月、睦月▲、望月▲

▽呂三〇▲、▽呂三一、▽呂三二、▽呂六〇、

▽呂六一▲、▽呂六六、▽呂六五、▽呂六七、▽伊六六、伊六五、▽呂六三、▽呂六四、▽呂六八

▽真鶴、千鳥、友鶴▲、初雁、掃一、掃二

敷島▲、鶴見、佐多、早鞆、(雪風)▲、(磯風)▲、(伊一八)▲

【長崎】

羽黒▲

【作業地】

▽出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、伏見、▽瑞穂、球磨、▽妙高、▽長良、嵯峨、千代田、勝力、夕張、▽八雲、磐手、長鯨

栗、梅、蓮、▽夕風、朝風、▽松風、朝風、▽白露、有明、夕暮、時雨、▽秋風、羽風、

▽大刀風、夕風、▽綾波、浦波、峯風、沖風、伊六三

▽隼、鴨、鴻、鵠、鷺、鳩、雉

▽掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、

▽掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、▽掃一七、掃一八、▽掃一〇、掃八、掃九、掃七

【航海中】

知床 (六日佐世保發—横須賀へ)

▽大鯨、▽伊五、伊四、▽伊五五、伊五三、伊五四、▽伊六〇、伊五九、伊七 (七日吳發—宿毛へ) 薄雲 (八日吳發—佐伯灣へ)

0764

(限 内 部)

# 海軍公報 (部内限) 第三千三百七號

昭和十四年九月九日 (土)  
海軍大臣官房

## ○ 令 達

官房第一七五四號ノ一三  
昭和十四年度歳出科目中左ノ通追加ス  
昭和十四年九月九日

海軍大臣

## 臨時部

款	項	目	節	解	疏
水備費 (陸)	軍設備費 (港)	佐世保軍港 (雜設備費)	雜船費		會計科目 電信略號
					ソク

## ○ 通 牒

官房機密第五六三四號  
昭和十四年九月九日

海軍次官

關係各廳長殿

昭和十四年度戰時召集猶豫者中一部交代ニ關スル調査ノ件照會

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通陸軍次官ヨリ照會有之候條昭和十三年七月十四日官房機密第三八一五號申進ニ依リ通報相成タル昭和十四年度陸軍戰時召集猶豫者 (追加ノモノヲ含ム) 中別紙召集猶豫者交代ノ範圍該當者ニ就キ之ヲ調査ノ上所定各表調製 (各表共別ニ寫一通添附) 海軍省人事局長宛九月二十五日迄ニ到達スル様送付相成度

追テ各部ニ於テハ本件實施セラレタル場合蒙ルベキ支障ヲ最少限度ニ止ムル如ク交代時機竝ニ人員ノ配分ニ關シ特ニ慎重ヲ期スルト共ニ豫メ交代者要員ノ養成其ノ他ノ對策ニ付萬全ヲ期セラレ度

(別紙)  
陸支密第三〇一二號

昭和十四年度陸軍動員計畫上戰時召集猶豫者中一部交代ニ關スル調査ノ件照會

海軍公報 (部内限) 第三千三百七號 昭和十四年九月九日

一〇四三



昭和十四年八月二十六日

陸軍次官 山 脇 正 隆

海軍次官 山本五十六殿

昭和十三年六月二十二日附陸密第八〇二號昭和十四年度陸軍動員計畫上戰時召集猶豫者ノ件照會ニ依リ通報相成タル人員(同照會追書ニ依リ追加訂正セラレタル者ヲ含ム)中別紙要領ニ依リ交代ニ關シ調査ノ上貴省(部局)關係ノ分ヲ取纏メ來ル十月一日迄ニ到達スル如ク當省宛通報相成度照會ス

追テ本件ハ兵役法ノ趣旨ニ基キ召集猶豫取扱者ヲ他ノ者ト交代シ本事變ニ直接軍人トシテ從軍セシムル爲ノ調査ニシテ貴省ニ於テモ此ノ趣旨ヲ了承ノ上之カ交代要員ノ養成、軍人トシテ從軍スル場合ニ於ケル對策等ニ就キ豫メ充分配慮相煩度

昭和十四年度召集猶豫者中一部交代ニ關スル件調査要領

左記要領ニ依リ召集猶豫者中一部ノ交代ヲ實施セシメラルル場合ヲ願慮シ調査スルモノトス

左記

一、召集猶豫者交代ノ範圍

昭和十三年六月二十二日附陸密第八〇二號(海軍省註、昭和十三年官房機密第三八一五號ニ相當ス)照會ニ基キ通報セラレタル者(同照會追書ニ依リ爾後追加セラレタル者ヲ含ム)中  
將校、准士官、下士官 豫備役ノ者  
兵、  
豫備役ノ者  
昭和六年徵集以降ノ補充  
兵役ノ者

注意 1. 前項以外ノ者即チ將校、准士官、下士官ニ於テハ後備役ノ者、兵ニ在リテハ後備役及昭和五年以前ノ徵集補充兵役ノ者ハ交代セシメス

2. 右交代スヘキ年次(役種)ノ者ニ於テモ今次支那事變ニ既ニ從軍(内地、朝鮮、臺灣、樺太及滿洲國、關東州ニ於テ服務セル者ヲ含ム)シ召集解除又ハ除隊セル者ハ之ヲ交代セシメス

3. 海外在留者(滿洲國、關東州、樺太在留者ヲ含ム)ハ之ヲ交代セシメス

二、交代時機

第一期(昭和十四年十二月—昭和十五年十一月ノ一年間)

<p>第二期(昭和十五年十二月—昭和十六年十一月ノ一年間)</p> <p>第三期 特ニ陸軍大臣ノ指示スル時機(海軍省註高度ノ技術者又ハ重要職員等特殊ノ理由アル者)(昭和十六年十二月以降)</p> <p>但シ各期ニ於テモ十二月、四月、八月ノ三回以上ニ區分シ逐次ニ交代スルモノトス</p> <p>三、交代人員</p> <p>第一、第二期ニ概ネ半數宛</p> <p>第三期 特殊ノ事情ニ依リ第一、第二期ニ交代困難ナル者</p> <p>四、通報様式</p> <p>附表第一乃至第三ニ依ルモノトス</p> <p>五、交代計畫(各省「部局」ノ事情ニ依リ適宜ノ様式ニテ差支ナシ)ヲ説明資料トシテ添附スルモノトス</p>	<p>○郵便物閉糞交換開始</p> <p>特務艦石廊北米方面行動中同艦ト横濱郵便局間ニ軍艦郵便ノ取扱ヲ行ハル</p> <p>(海軍省副官)</p>
<p>○將旗一時移揚</p> <p>第二根據地隊司令官ハ九月七日將旗ヲ一時第三防備隊ヨリ第十七號掃海艇ニ移揚セリ</p>	<p>○郵便物發送先</p> <p>雜役船竹生丸宛</p> <p>自今</p> <p>第六海軍軍用郵便所氣付</p>

海軍公報(部内限)第三千三百七號 昭和十四年九月九日





附表第三

(昭和十四年九月九日公報(部内限)別紙)

考 備	4	3	2	1	交代見込 困難ナル 順位	交代見 込時機	現在召集猶豫 者申出理由 要トスル理由	役 種	徴集年	兵 種	階 級	氏 名	昭和十五年 豫メ召集猶豫 者トシテ 申出有無	本籍地	摘 要
					何年 何月頃	第二 補充兵	兵種階級	氏名	有(無)						
一、第三期交代ヲ必要トスル理由ハ最モ具體的ニ詳細ニ記入スルモノトス 二、本表ハ三通宛通報スルモノトス												登坂三郎	有(無)		

第三期交代見込人員

今次交代ヲ計畫  
スヘキ總人員

昭  
和  
十  
四  
年  
度  
召  
集  
猶  
豫  
者  
中  
第  
三  
期  
交  
代  
者  
述  
名  
簿

官  
省  
(  
部  
局  
)  
等  
ノ  
名

○ 艦船所在

△印ハ二ホフ  
指定ヲ要セズ

○九月九日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、鈴谷▲、木曾、愛宕、足柄、高雄▲、五十鈴、駒橋、陸奥、山城、

△沖島、迅鯨

島風▲、灘風▲、△朝雲、夏雲▲、峯雲▲

山雲、△曉▲、狹霧▲

伊一二三▲、伊一二四▲

富士▲、膠州、洲崎▲、鳴戸、知床

(高崎)、(翔鶴)、(伊一七)▲

【長浦】△春風、旗風、汐風、△響、電、雷、帆風

呂五五、呂五六、伊六、呂五四、△呂五八、

呂五七、呂五九

【石川島】△沼風、野風

【横濱】(香取)

【浦賀】北上▲

漣 (不知火)▲、(早潮)▲

【館山】

【大湊】葵▲

【函館】△菊▲、萩

【吳】△矢矧、淺間、淀、比叡▲、神通▲、日向▲、熊野▲、

鳳翔、古鷹、最上、嚴島▲、加古、大井、

△白鷹

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、刈萱、敷波、磯波▲、矢風、霞、△霞、東雲

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八、伊五一、伊六七▲、△伊一二一、

伊一二二、△伊七〇、△伊六二、伊六四、

伊六一▲、伊六九、△伊一、伊二、伊三

雁 攝津▲、明石▲、石廊

(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

【大阪】天龍▲

△彌生▲、卯月▲、如月▲、夕月

(黒潮)▲、(夏潮)▲

【神戸】伊六八▲、△伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲

(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲

【相生】神風、波風▲、朝顔▲、△芙蓉

(初鷹)▲

【玉】呂六二▲

【因ノ島】水無月▲、卓月▲

【江田内】平戸▲

【伊豫灘】△伊七五

【宿毛】△長門、伊勢、扶桑、△霧島、金剛、△阿武隈、

由良、鬼怒、△川内、△大鯨、△赤城

△村雨、春雨、夕立、五月雨、△若葉、初春、

△子日、初霜、△江風、涼風、山風、海風、

△追風、疾風

伊五、伊四、伊五五、伊五三、伊五四、  
伊六〇、伊五九、伊七

【佐伯灣】

隱戸、間宮  
鳥海、摩耶、利根、筑摩、那珂、蒼龍、  
龍驤、劍埼

白朧、潮、曙、天霧、朝霧、夕霧、初雪、  
白雪、吹雪、叢雲、薄雲

伊七四、伊七三、伊七二、伊七一、  
伊三四、伊三三、伊八

【舞鶴】

吾妻、多摩、  
白雲

伊五二

(陽炎)、(親潮)

【佐世保】

常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登、  
龍田、千歳、榛名、飛龍、八重山、名取

梨、竹、樞、桃、柳、檜、蕁、蓼、蓬、菱、  
葦、柿、楡、文月、長月、大潮、  
荒潮、朝潮、滿潮、菊月、三日月、睦月、  
望月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、  
呂六一、呂六六、呂六五、呂六七、  
伊六六、伊六五、伊六三、伊六四、伊六八

眞鶴、千鳥、友鶴、初雁

掃一一、掃一二

敷島、鶴見、佐多、早鞆

【長崎】

【作業地】

【雪風】

【磯風】

【伊一八】

【羽黒】

【雪風】

【磯風】

【伊一八】

【羽黒】

【雪風】

【磯風】

【伊一八】

【羽黒】

【雪風】

【磯風】

【伊一八】

【羽黒】

【雪風】

【磯風】

【伊一八】

【羽黒】

【雪風】

【磯風】

【伊一八】

【羽黒】

【雪風】

【磯風】

【伊一八】

【羽黒】

【雪風】

【磯風】

【伊一八】

【羽黒】

0772  
0771

(限 内 部)

# 海軍公報 (部内限) 第三千三百八號

昭和十四年九月十一日(月)  
海軍大臣官房

## ○ 令 達

官房第二〇七五號ノ三  
昭和十四年官房第二〇七五號中「同 第四百四十一號」ノ次ニ「同 第三十號」ヲ加フ  
昭和十四年九月一日  
海軍大臣

(参照) 昭和十四年官房第二〇七五號ハ家族移轉料支給停止ニ關スル件ナリ

## ○ 雜 談

○軍艦大井行動豫定表

地名	着	發
吳 小 部	九月十一日	九月十一日
多 津 灣	九月十二日	九月十二日
今 治 灣	九月十四日	九月十四日
廣 島 灣	九月十五日	九月十六日

吳 小 部	廣 島 灣	今 治 灣	多 津 灣	小 部	吳 小 部	廣 島 灣	今 治 灣	多 津 灣	小 部	吳 小 部	廣 島 灣	今 治 灣	多 津 灣	小 部
十六日	二十三日	二十四日	二十六日	二十七日	二十八日	十月一日	十月二日	十月三日	十月四日	十月五日	十月六日	十月七日	十月八日	十月九日
二十三日	二十四日	二十六日	二十七日	二十八日	十月一日	十月二日	十月三日	十月四日	十月五日	十月六日	十月七日	十月八日	十月九日	十月十日

○郵便物發送先  
特務艦隱戸宛  
九月十九日迄ニ到達見込ノモノハ  
其ノ後ハ  
吳 宿 毛

海軍公報 (部内限) 第三千三百八號

昭和十四年九月十一日

一〇四九



0773

海軍公報(部内限) 第三千三百八號 昭和十四年九月十一日

○事務所移轉  
麻里布海軍航空隊(假稱)設立準備委員事務所ヲ本月  
八日、山口縣玖珂郡川下村ニ移轉セリ

一〇五〇

○艦船所在

▲印ハ、ハ、ホ、ヘ  
指定ヲ要セズ

○九月十一日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、鈴谷▲、木曾▲、愛宕▲、足柄▲、高雄▲、五十鈴▲、駒橋▲、陸奥▲、山城▲、

▷沖島、迅鯨

島風▲、灘風▲、▽朝雲▲、夏雲▲、峯雲▲、

山雲▲、▽曉▲、狹霧▲

伊一二三▲、伊一二四▲

富士▲、膠州▲、洲崎▲、鳴戸▲、知床

(高崎)▲、(翔鶴)▲、(伊一七)▲

【長浦】▽春風▲、旗風▲、汐風▲、▽響▲、電▲、雷▲、帆風

呂五五、呂五六、伊六、呂五四、▽呂五八、

呂五七、呂五九

【石川島】▽沼風▲、野風

【横濱】(香取)

浦賀▲、北上▲

漣

(不知火)▲、(早潮)▲

【館山】

澤風

【大湊】

葵▲

【函館】▽菊▲、萩

【吳】

鳳翔▲、古鷹▲、最上▲、嚴島▲、加古▲、大井▲、

▽白鷹

夕顔▲、吳竹▲、若竹▲、早苗▲、薄▲、藤▲、葛▲、刈萱▲、

敷波▲、磯波▲、矢風▲、霞▲、▽蔽

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、伊五一▲、伊六七▲、▽伊一二一、

伊一二二、▽伊七〇、▽伊六二、伊六四、

伊六一▲、伊六九、▽伊一、伊二、伊三、

雁 攝津▲、明石▲、石廊

(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

【大阪】

天龍▲、▽彌生▲、卯月▲、如月▲、夕月

【神戸】

(黒潮)▲、(夏潮)▲、伊六八▲、▽伊五七▲、伊五六▲、伊五八▲

【相生】

(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲、

【相生】

神風▲、波風▲、朝顔▲、▽芙蓉

【玉】

(初鷹)▲、呂六二▲

【因ノ島】

水無月▲、皐月▲

【江田内】

平戸▲

【宿毛】

▽長門▲、伊勢▲、扶桑▲、▽霧島▲、金剛▲、▽阿武隈、

由良▲、鬼怒▲、▽川内▲、▽大鯨▲、▽赤城、

▽村雨▲、春雨▲、夕立▲、五月雨▲、▽若葉▲、初春、

▽子日▲、初霜▲、▽江風▲、涼風▲、山風▲、海風、

▽追風

▽伊五、伊四、▽伊五五、伊五三、伊五四、

伊六〇、伊五九、伊七

隱戸、間宮

【佐伯灣】

鳥海、摩耶、利根、筑摩、那珂、劍埼

白雲、吹雪

伊七五、伊七四、伊七三、伊七二、伊七一、呂三三、伊八

【細島】

疾風

吾妻、多摩

伊五二

(陽炎) (親潮)

【佐世保】

常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登、龍田、千歲、榛名、飛龍、八重山、名取

八雲、磐手

梨、竹、榎、桃、柳、檜、薑、蓼、蓬、菱

荒潮、朝潮、滿潮、菊月、三日月、睦月、望月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六六、呂六五、呂六七、呂六八、伊六五、呂六三、呂六四、呂六八

眞鶴、千鳥、友鶴、初雁

掃一一、掃一二

敷島、鶴見、佐多、早鞆、野島

【長崎】

羽黒

【有明灣】

蒼龍、龍驤

東雲、叢雲、薄雲

出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、伏見、瑞穂、球磨、妙高、長良、嵯峨、千代田、勝力、夕張、長鯨

栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、白露、有明、夕暮、時雨、秋風、羽風、太刀風、夕風、綾波、浦波、峯風、沖風

伊六三

隼、鴨、鴻、鵠、鷺、鳩、雉

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃一五、掃一三、掃一四、掃一六、掃一七、掃一八、掃一〇、掃八、掃九、掃七

朝日、大泊、襟裳、尻矢、室戸